

あらゆる合理化に反対！港湾を兵站基地にするな！ 24秋越年末闘争中央行動



国交省前集会②

国交省前集会①



厚勞省交渉

国交省交渉



経産・工庁交渉

散開集会

- ・資源エネルギー庁交渉、日本貿易会の交渉が開催され、前日に開催された国交省・厚労省交渉と同様に『港湾政策並びに港湾労働に係わる申し入れ書』を携え交渉を行い、中央行動を終えた。

各党の結集を求めるに、松永代行から前日に開催された国土交通省交渉の報告と古澤中執から厚生労働省の報告を受け、そのあと野党各党の議員から激励の挨拶から参加者と各党議員との懇談会に移り、最後には全国港湾竹内中央執行委員長の団結ガントバロー三唱で日比谷集会を閉会した。

港湾構想やA-Iターミナルに関する問題、石綿対策など出された回答に対しても矛盾を突くような発言が多く見られ、国土交通省交渉・厚生労働省交渉とともに課題が浮き彫りになった交渉であった。今後も継続した取り組みの必要性を感じた国土交通省交渉と厚生労働省交渉であった。

2日目は日比谷図書館地下階ホールにて2019年秋越年中央行動以来とな

る野党各党の国会議員との懇談を目的とした日比谷集会を行った。（参加議員）立憲民主党・近藤昭一衆議院議員・吉川はじめ衆議院議員・白石洋一衆議院議員・しもの幸助衆議院議員・尾辻かな子衆議院議員・国民民主党・西岡秀子衆議院議員・日本共産党・堀川あき子衆議院議員・れいわ新選舉議員。

日比谷集会には前日の行

政交渉参加者と京浜港の仲間が参加(合計101名)。開会のあいさつを行った竹内中央執行委員長は日比谷集会に参加してくださった野党各党の議員に感謝の意を述べると同時に政策懇談会の重要性を強調した。また、港湾の実情、とりわけ特定利用港湾による兵站基地化の傾向とそれに対する我々の日々の運動に触れ、野党各党の議員に再び日本を戦争させないために野党各党の結集を求めました。

ついで、松永代行から前日に開催された国土交通省交渉の報告と舌澤中執から厚生労働省の報告を受け、そのあと野党各党の議員から激励の挨拶から参加者と各党議員との懇談会に移り、最後には全国港湾竹内中央執行委員長の団結ガンパロー三唱で日比谷集会を開会した。

今回開催された日比谷集会では、我々の置かれた現状や改善に向けた主張などを直接国会議員へ届ける場としてとても有意義なものとなつた。

集会閉会後、経済産業省・資源エネルギー庁交渉、日本貿易会の交渉が開催され、前日に開催された国交省・厚労省交渉と同様に『港湾政策並びに港湾労働に係る申し入れ書』を携え交渉を行い、中央行動を終えた。

最後にお忙しいなか『11・6日比谷集会』に駆けつけた小さった野党各党の先生方と秘書の方々に感謝の意を伝えたいと思います。